全世界的に生物は絶滅に向かっている

ex. ゲンジボタル
関東と関西では発光のパターンがちがう
各地に放たれたホタルが国内外来種となっている

地球の歴史上、5回の大量絶滅があった ⟶ このペースは0.001種／年？

現在地球上に生息している生物は3000万種？　…人類が把握しているのは175万種程度
しかし…　1975年以降、4万種／年のペースで絶滅??　（環境省）

⇩

現在は6度目の大量絶滅?!

3つの生物多様性
- 遺伝子の多様性
- 種の多様性
- 生態系の多様性

源泉。はどれも同じではない

世界的な動き

生物多様性条約　1993年
1．生物の多様性の保全
2．生物多様性の構成要素の持続可能な利用
3．遺伝資源の利用から生ずる利益の公正で衡平な配分

※ 生物はお互いに関係し合って生きている

COP15（2022年）　昆明・モントリオール生物多様性枠組　　世界的な社会目標
『2020年を基準として、2030年までに生物多様性の損失を止め、2050年までに完全な回復を達成させる』
→　ネイチャーポジティブ
地球規模で多くの生物が絶滅し、様々な生態系が失われている現状を食い止め、さらにその自然環境を回復させていこうという目標

日本の動き

生物多様性国家戦略2023-2030　　2023年　閣議決定
→　目標「2030年までにネイチャーポジティブを達成する」

2030生物多様性枠組実現日本会議　（環境省）
→　企業、地方公共団体、ＮＧＯ等に対して、「ネイチャーポジティブ宣言」を表明してもらうように呼び掛け

実現すれば：生物絶滅のリスクは3割減の予想

→　30 b y 30
「2030年までに陸と海の30%を健全な生態系として保全する」
⇩　　というネイチャーポジティブを実現させるための目標
自然共生サイト（OECM）
国立公園等の保護地域以外で生物多様性保全に資する地域を環境省が認定する
～　国立公園等の保護地域と自然共有サイトで合わせて30%をめざす

3パターン
・継続タイプ　回復タイプ　創出タイプ
↳ このタイプのみ環境省が認定 ⟶ 烏川源流はこれになれる！

群馬県の動き

ぐんまネイチャーポジティブ宣言　　令和6年12月20日 群馬県知事　山本一太

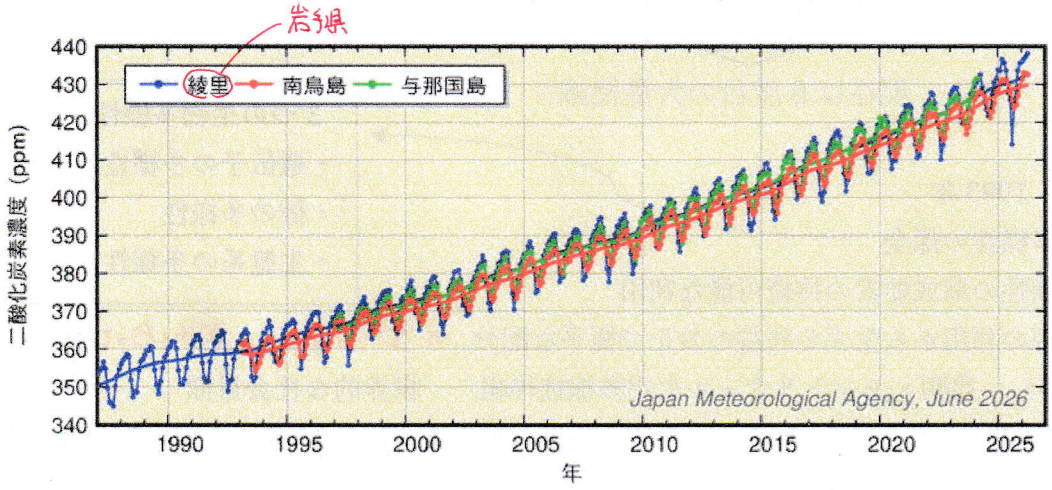
ネイチャーポジティブ実現のためには、自然を守ることだけではなく、私たちの社会・経済全体が生物多様性の保全に 貢献するような「社会変革」が必要です。今まさに、県民・ 企業・行政にも行動の転換が求められています。とりわけ、経済活動の主体である企業が、ネイチャーポジティブ経営（自然資本保全の概念を重要課題として位置づけた経営）へ移行していくことが重要です。 群馬県は、豊かな自然資本を生かしながら、ネイチャーポジティブ経営企業が集積する「群馬県版ネイチャーポジティブ経営エコシステム」を形成することにより付加価値が生み出され、生物多様性も保全されていく、ネイチャーポジティブ 経営の第一想起地となることを目指します。

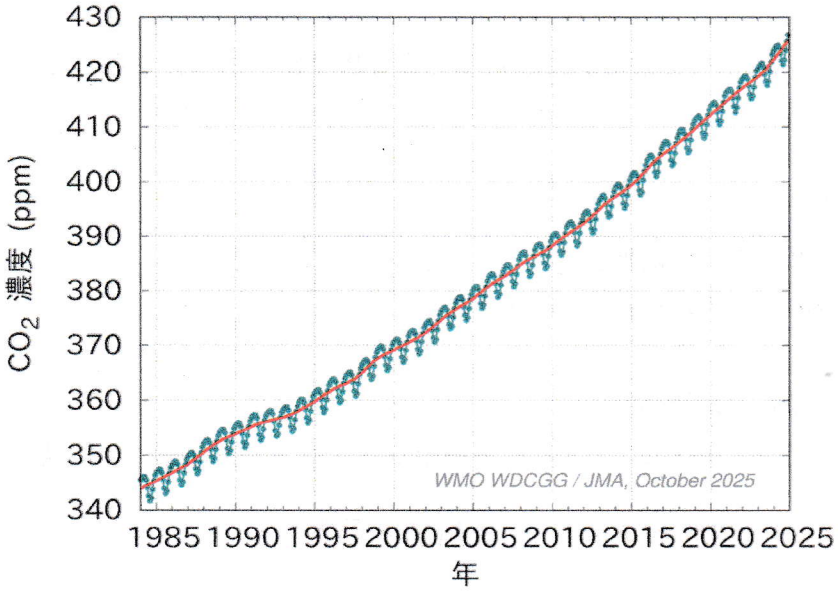
高崎市
ネイチャーポジティブプラットホーム参加（10月）

地球温暖化と気候変動の問題

地球の温暖化の原因は温室効果ガス（CO_2, CH_4, N_2O, フロンガスなど）の温室効果によるとされています。

二酸化炭素（CO_2）の変化





陸上生物圏の活動によって季節変化があります

夏 ～ 光合成により CO_2 減
冬 ～ 光合成量減、呼吸・分解活動により CO_2 増加

CO_2の増減には 光合成が重要
↓
森林を増やす

光合成　$6CO_2 + 12H_2O \rightarrow C_6H_{12}O_6 + 6H_2O + 6O_2$

呼吸　$C_6H_{12}O_6 + 6H_2O + 6O_2 \rightarrow 6CO_2 + 12H_2O$

燃焼　アセチレン
$2C_2H_2 + 5O_2 \rightarrow 4CO_2 + 12H_2O$ + エネルギー
オクタン（ガソリン）
$2C_8H_{18} + 25O_2 \rightarrow 16CO_2 + 18H_2O$ + エネルギー

すべての CO_2 の排出量のうち、81～91%は、

- 46%　大気中に蓄積
- 23%　海洋に吸収
- 31%　陸域の生態系の植生に貯蔵

温度が上ると吸収量は減る

これを増やさなければ

化石燃料の燃焼
セメントの生産

$CaCO_3 + O_2 \rightarrow CaO + CO_2$

炭酸カルシウム
〃
石灰岩

酸化カルシウム
セメントの主成分

元は CO_2
これが生物の殻などになり海底で化石となった
海水中の成分が海底に沈殿

烏川源流域の自然環境

磯名山の始まりは50万年前

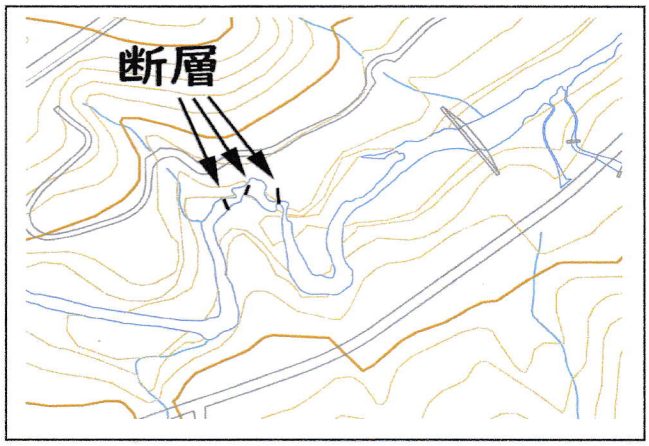
地質

実際は 600万～800万？

～ 新生代新第三紀中新世～鮮新世（2300 万～533 万年前）の安山岩や玄武岩質安山岩の溶岩、火砕岩など

→ 大昔の火山が風化、浸食されてできた地形

ダム計画地のあたり　安山岩の貫入岩体、緑色凝灰岩など
断層もあります！ → 写真 2枚



上流・赤沢のあたり　熱水により岩石はボロボロ

↓ 写真

かつて、温泉があった記録？

ダムに土砂は大量に流れ込む？

このあたりの地質は妙義山から続いている一連のもの
荒船山～妙義山～鼻曲山～浅間隠山～八ッ場～王城山

「碓氷吾妻古期火山列」

生息している生物

これまでの調査報告　～「烏川源流域学術調査報告」群馬県　昭和 61 年
「烏川の源流」みやま文庫　平成 3 年
「倉渕村誌　自然編」平成 18 年

しかし…
ダム周辺を調べたものがない

倉渕ダムの調査があるはず…　まだ見つからず

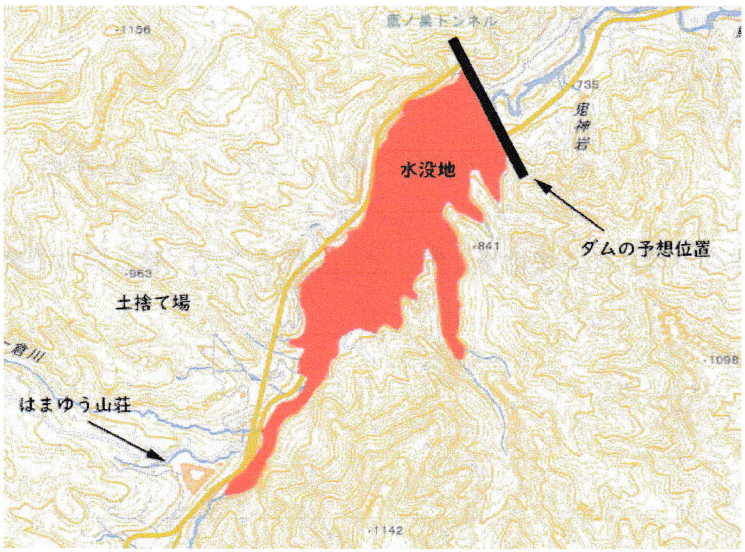
調べてみました

- 踏査　観察・撮影・採集　すべての生物を対象
- 定点観察　主にクマタカなどの猛禽
- トレイルカメラ　主に哺乳類ときどき鳥
- スズメバチトラップ　酒・ブドウジュース・酢・砂糖などで　昆虫
- ライトトラップ　昆虫

写真

写真 2枚

調査範囲



サーチャージ水位が 790m くらいと想定されていますので、中止となったダムの位置にダムがあったとして、標高 790m の等高線をダム湖の湖岸線と考え、水没地を中心としてその周囲数 km を対象としています。

また、土捨て場や原石山も対象としなければなりませんが、そこまでまだ十分に調べられていません。

記録 ～ 国土地理院地図のメッシュを使って確認した場所を記録している

写真

確認できた生物種　2026.10.23.現在

菌類		ランソウ	1
		キノコ	15
		変形菌	2
植物		シダ植物	13
		裸子植物	6
		被子植物	296
脊椎動物		魚類	2
		両生類	4
		爬虫類	6
		鳥類	79
		哺乳類	14
節足動物	甲殻類	エビ目	1
	昆虫類	アミメカゲロウ目	4
		シリアゲムシ目	5
		甲虫目	147
		双翅目	19
		直翅目	11
		ナナフシ目	2
		トビケラ目	1
		トンボ目	17
		ハサミムシ目	3
		半翅目	55
		膜翅目	23
		鱗翅目・蛾	241
		鱗翅目・蝶	43
	クモガタ綱	クモ目	5
軟体動物	腹足綱	陸産貝類	1
		虫えい	11

この数字はとりあえず種名まで同定できた生物の数です。そこに生息しているのはわかっているのに種名までたどり着けないものがたくさんあります。この数字はまだ実際の生物の中の一握りでしかありません。

ただ、鳥類については、この場所で長い間観察し続けてきた方のデータから、ほぼ全種近くが数えられているかもしれません。

今後、さらに調査を進めていきたいと思います。協力していただけ方をお待ちしています。

調査・協力のみなさん

上原輝和　金子則子　金子正幸
栗原直樹　栗原紀子　坂本義則
宍戸康裕　四十万智博　武井謙司
楢原佐恵子　楢原幹基　秦野英治
（敬称略）

ランソウ　…　藍藻。シアノバクテリアです。
変形菌　…　粘菌ともいいます。
アミメカゲロウ目　…　ヘビトンボ、ウスバカゲロウ、クサカゲロウ、カマキリモドキなどの仲間
シリアゲムシ目　…　その名の通りシリアゲムシの仲間
双翅目　…　ハエ、アブ、ガガンボ、などの仲間
直翅目　…　バッタやコオロギなどの仲間
半翅目　…　カメムシ、セミ、アブラムシ、アワフキ、ウンカ、ツノゼミ、ヨコバイなどの仲間
膜翅目　…　ハチやアリの仲間
鱗翅目　…　鱗粉がついた翅を持つ昆虫の一群。ここでは蛾と蝶に分けて数えたが、蛾と蝶の明確な区別はない
陸産貝類　…　カタツムリなどの仲間

これまでに確認された貴重種　2026.10.23.現在

分類	種名	レッドデータの状況		
		環境省	群馬県	隣接県（埼玉・長野・新潟・福島・栃木）
キノコ	カメムシタケ			長野・情報不足（DD）
キノコ	サンコタケ			長野・情報不足（DD）
キノコ	マイタケ			長野・準絶滅危惧（NT）
シダ植物	イワヒバ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）　栃木・要注目
シダ植物	クモノスシダ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）　埼玉・準絶滅危惧（NT）
シダ植物	ツルデンダ			新潟・準絶滅危惧（NT）
シダ植物	ナツノハナワラビ			埼玉・準絶滅危惧（NT）
シダ植物	ハコネシダ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
被子植物	アキノギンリョウソウ 写真	ツツジ科 腐生植物	絶滅危惧1B類（En）	埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	アケボノソウ 写真	菌根を形成し、栄養を菌からもらう		埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	イワギボウシ			福島・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	イワタバコ			新潟・絶滅危惧Ⅰ類（EN）
被子植物	ウスバサイシン			埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	オオバショウマ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	カジカエデ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	カノツメソウ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	キオン			埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	キバナノヤマオダマキ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）　埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	キヨスミウツボ 写真2枚	アジサイの根に寄生する 葉緑体なし	絶滅危惧1B類（En）	埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN）　新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）　長野・絶滅危惧ⅠB類（EN）　福島・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	ギンバイソウ 写真	アジサイの仲間	絶滅危惧1B類（En）	栃木・準絶滅危惧（C ランク）
被子植物	ギンラン 写真 ↔ 菌根菌 菌 ミネラル	そはやき要素 九州・四国・紀伊半島に分布の中心	絶滅危惧2類（Vu）	埼玉・準絶滅危惧（NT）　栃木・準絶滅危惧（C ランク）　長野・準絶滅危惧（NT）
被子植物	クサアジサイ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	クモキリソウ			埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	クリンユキフデ			埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN）　新潟・地域個体群（LP）
被子植物	コアジサイ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	コオニユリ			埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	コガネネコノメソウ			福島・情報不足（DD）
被子植物	ココメウツギ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	サクラスミレ			埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	ササバギンラン			埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	サワギク			新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	シロバナエンレイソウ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
被子植物	ジンバイソウ 写真	ランの仲間	絶滅危惧1B類（En）	埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN）　福島・準絶滅危惧（NT）

被子植物	タチガシワ	写真		埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN） 長野・絶滅危惧ⅠA類（CR）
被子植物	タマアジサイ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
被子植物	ダンコウバイ			福島・準絶滅危惧（NT）
被子植物	チダケサシ			新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	チドリノキ			新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ツチアケビ	写真2枚		埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN） 長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	トウゴクサバノオ			長野・絶滅危惧ⅠB類（EN） 埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ナガミノツルキケマン 写真	準絶滅危惧（NT） 倉渕には雑草のようにある	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN） 新潟・準絶滅危惧（NT） 栃木・要注目
被子植物	ニシキウツギ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	ニシキギ			新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ハクウンラン 写真		絶滅危惧1B類（En）	埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU） 新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 栃木・準絶滅危惧（Cランク） 福島・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ヒトツバテンナンショウ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 長野・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ヒナノウスツボ			埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	ヒメウツギ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
被子植物	ヒメウワバミソウ			長野・準絶滅危惧（NT）
被子植物	フジウツギ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
被子植物	フタバアオイ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	ホソエカエデ			栃木・絶滅危惧Ⅱ類（Bランク） 福島・情報不足（DD） 新潟・地域個体群（LP）
被子植物	ミツバコンロンソウ			長野・絶滅危惧ⅠA類（CR）
被子植物	ミツバツツジ			栃木・準絶滅危惧（Cランク）
被子植物	ミツモトソウ			新潟・地域個体群（LP）
被子植物	ミヤマウズラ 写真		絶滅危惧2類（Vu）	埼玉・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ミヤマムグラ			福島・絶滅危惧種Ⅱ類（VU）
被子植物	メギ			新潟・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
被子植物	ヤマジノホトトギス			新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ヤマブキ			新潟・準絶滅危惧（NT）
被子植物	ヤマユリ			長野・準絶滅危惧（NT）
被子植物	レンゲショウマ 写真		絶滅危惧2類（Vu）	埼玉・絶滅危惧種Ⅱ類（VU） 長野・準絶滅危惧（NT） 福島・準絶滅危惧（NT）
クモ	オオトリノフンダマシ			埼玉・準絶滅危惧（NT1）
甲殻類	サワガニ		準絶滅危惧（Nt）	埼玉・準絶滅危惧（NT2） 栃木・要注目
昆虫	アカエゾゼミ		準絶滅危惧（Nt）	長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 埼玉・準絶滅危惧（NT1） 新潟・準絶滅危惧（NT） 栃木・準絶滅危惧（Cランク）
昆虫	ウラギンヒョウモン			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	エゾハサミムシ			埼玉・絶滅の恐れがある地域個体群（LP）
昆虫	エダナナフシ			埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU）

昆虫	エルタテハ			新潟・準絶滅危惧（NT）
昆虫	オオアメンボ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	オオチャバネセセリ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	オナガミズスマシ			埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 長野・準絶滅危惧（NT）
昆虫	キバネハサミムシ			埼玉・情報不足（DD）
昆虫	クモガタヒョウモン			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	クロウスタビガ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	クロサナエ			埼玉・準絶滅危惧（NT1）
昆虫	コガタカンタン			埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
昆虫	コチャバネセセリ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	コロギス		情報不足（Dd）	
昆虫	シラキトビナナフシ	写真	情報不足（Dd）	長野・準絶滅危惧（NT） 埼玉・情報不足（DD）
昆虫	スカシシリアゲモドキ			長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
昆虫	ツマグロバッタ		情報不足（Dd）	埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
昆虫	ヒゲブトハナムグリ			長野・準絶滅危惧（NT）
昆虫	ヒメホソアシナガバチ		情報不足（Dd）	
昆虫	ホソバセセリ			栃木・絶滅危惧Ⅱ類（Bランク） 埼玉・準絶滅危惧（NT2） 新潟・準絶滅危惧（NT）
昆虫	ミスジシリアゲ			埼玉・情報不足（DD） 栃木・要注目
昆虫	ミヤマセセリ			埼玉・準絶滅危惧（NT1）
昆虫	ムネアカクシヒゲムシ			長野・準絶滅危惧（NT）
昆虫	ムラサキトビケラ 写真	スズメバチトラップにて	絶滅危惧2類（Vu）	栃木・要注目 埼玉・準絶滅危惧（NT1）
昆虫	ヤマトクロスジヘビトンボ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
昆虫	ヨツモンカメムシ			埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 長野・準絶滅危惧（NT）
魚類	イワナ	情報不足（DD）	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 栃木・絶滅危惧Ⅱ類（Bランク） 長野・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT）
魚類	ヤマメ	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 新潟・準絶滅危惧（NT） 長野・準絶滅危惧（NT）
両生類	アズマヒキガエル			埼玉・準絶滅危惧（NT1） 新潟・準絶滅危惧（NT） 福島・準絶滅危惧（NT） 栃木・準絶滅危惧（Cランク）
両生類	カジカガエル 写真	ダム計画地付近にとくに多い。	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・準絶滅危惧（NT1） 新潟・準絶滅危惧（NT） 福島・準絶滅危惧（NT） 栃木・要注目
両生類	ハコネサンショウウオ			埼玉・準絶滅危惧（NT1） 新潟・準絶滅危惧（NT）
両生類	ヤマアカガエル			埼玉・準絶滅危惧（NT2） 栃木・要注目
爬虫類	カナヘビ			埼玉・地帯別危惧（RT） 栃木・要注目
爬虫類	シマヘビ			埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 栃木・要注目
爬虫類	ジムグリ			埼玉・準絶滅危惧（NT1） 福島・準絶滅危惧（NT） 栃木・要注目
爬虫類	ヒガシニホントカゲ			栃木・絶滅危惧Ⅱ類（Bランク） 埼玉・準絶滅危惧（NT2） 福島・準絶滅危惧（NT）

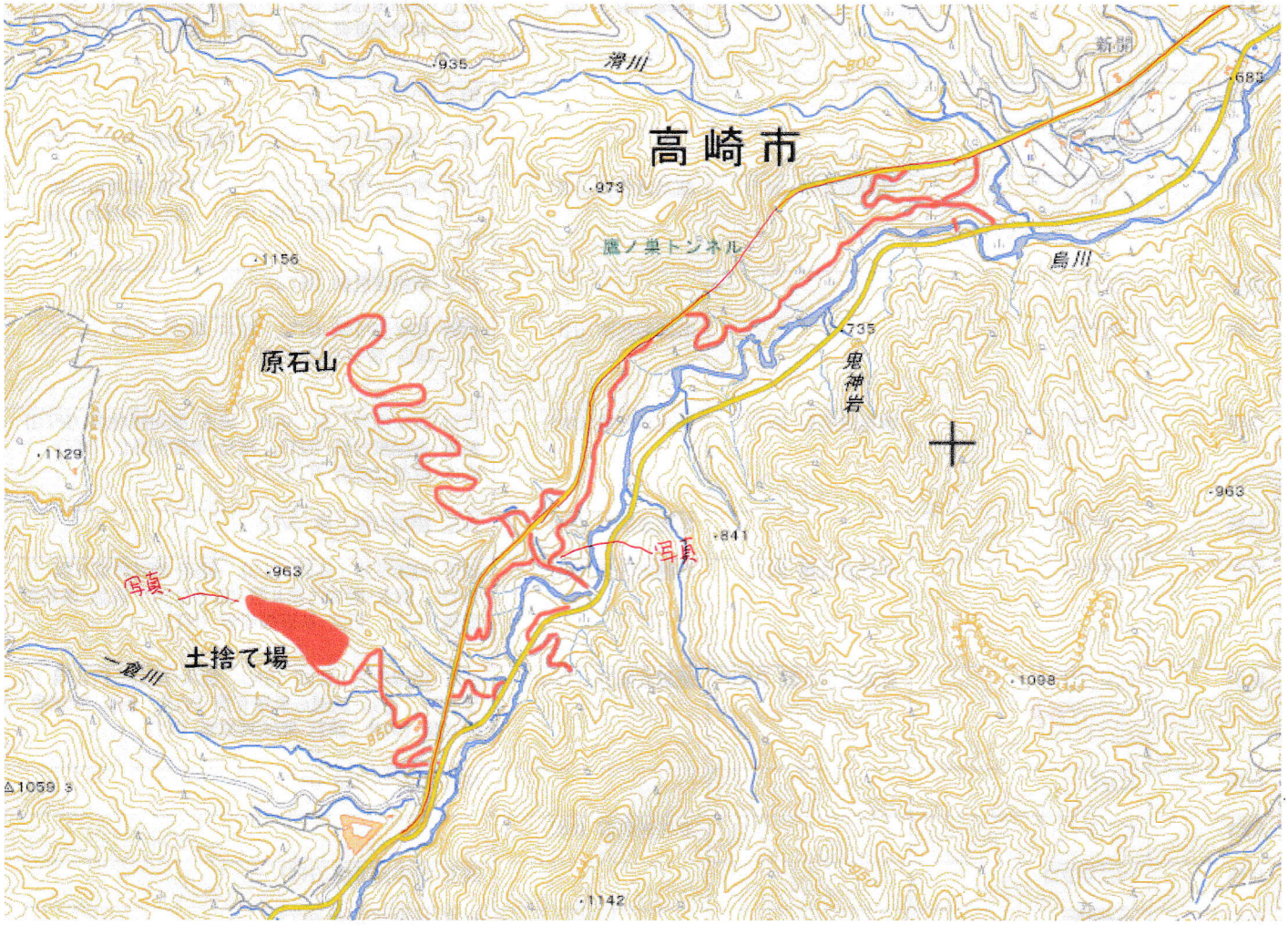
爬虫類	マムシ			埼玉・準絶滅危惧（NT2） 栃木・準絶滅危惧（C ランク） 福島・準絶滅危惧（NT）
爬虫類	ヤマカガシ			埼玉・準絶滅危惧（NT1） 栃木・準絶滅危惧（C ランク） 福島・準絶滅危惧（NT）
鳥類	アオゲラ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	アオジ			埼玉・情報不足（DD）
鳥類 写真	アオバト 不思議な声		情報不足（Dd）	埼玉・地帯別危惧（RT） 福島・準絶滅危惧（NT）
鳥類	イヌワシ 写真 種の保存法	絶滅危惧ⅠB 類（EN）	絶滅危惧1A 類（Cr）	長野・絶滅危惧ⅠA 類（CR） 新潟・絶滅危惧Ⅰ類（EN） 福島・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） 栃木・絶滅危惧Ⅰ類（A ランク） 埼玉・情報不足（DD）
鳥類	イワヒバリ		準絶滅危惧（Nt）	福島・ 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） 栃木・絶滅危惧Ⅱ類（B ランク） 埼玉・準絶滅危惧（NT1）
鳥類	ウグイス			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	エゾムシクイ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
鳥類	オオアカゲラ 写真		準絶滅危惧（Nt）	埼玉・準絶滅危惧（NT1） 福島・準絶滅危惧（NT） 長野・準絶滅危惧（NT）
鳥類	オオタカ	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（Nt）	長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 福島・絶滅危惧種Ⅱ類（VU） 栃木・準絶滅危惧（C ランク） 新潟・準絶滅危惧（NT）
鳥類	オオヨシキリ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
鳥類	オオルリ 写真			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	オシドリ	情報不足（DD）	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧ⅠB 類（EN） 栃木・準絶滅危惧（C ランク） 福島・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT） 長野・留意種（N）
鳥類	オナガ		準絶滅危惧（Nt）	
鳥類	カシラダカ		準絶滅危惧（Nt）	
鳥類	カヤクグリ			栃木・準絶滅危惧（C ランク）
鳥類	カワセミ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	キビタキ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	クマタカ 写真 種の保存法 ナイーブ、寿命30年?	絶滅危惧ⅠB 類（EN） 土地にしゅう着 広い面積が必要	絶滅危惧1B 類（En） そこに残っているか 子を巣立てできない?	埼玉・絶滅危惧ⅠB 類（EN） 長野・絶滅危惧ⅠB 類（EN） 新潟・絶滅危惧Ⅰ類（EN） 福島・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） 栃木・絶滅危惧Ⅰ類（A ランク）
鳥類	クロツグミ			埼玉・準絶滅危惧（NT2） 栃木・準絶滅危惧（C ランク）
鳥類	コガラ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
鳥類	コサメビタキ		準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧ⅠB 類（EN） 栃木・準絶滅危惧（C ランク） 新潟・準絶滅危惧（NT）
鳥類	コルリ			埼玉・準絶滅危惧（NT1）
鳥類	サシバ	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅危惧1B 類（En）	埼玉・絶滅危惧ⅠA 類（CR） 長野・絶滅危惧ⅠB 類（EN） 栃木・絶滅危惧Ⅱ類（B ランク） 福島・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT）
鳥類	サンショウクイ 写真	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧ⅠB 類（EN） 福島・準絶滅危惧（NT） 栃木・準絶滅危惧（C ランク） 新潟・準絶滅危惧（NT） 長野・留意種（N）
鳥類	ジュウイチ		絶滅危惧2類（Vu）	埼玉・絶滅の恐れがある地域個体群(LP)
鳥類	センダイムシクイ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）

※ 猛禽類が多い → 生態系が豊か

鳥類	ツツドリ		絶滅危惧2類（Vu）	埼玉・絶滅の恐れがある地域個体群(LP)
鳥類	ツミ		情報不足（Dd）	埼玉・準絶滅危惧（NT2） 福島・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT） 長野・情報不足（DD）
鳥類	トビ			埼玉・情報不足（DD）
鳥類	トラツグミ			埼玉・ 準絶滅危惧（NT2） 福島・準絶滅危惧（NT）
鳥類	ノジコ	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（Nt）	栃木・絶滅危惧Ⅰ類（Aランク） 福島・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT） 長野・準絶滅危惧（NT）
鳥類	ノスリ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
鳥類	ノビタキ		準絶滅危惧（Nt）	長野・準絶滅危惧（NT） 栃木・準絶滅危惧（Cランク） 福島・情報不足（DD）
鳥類	ハイタカ 写真	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（Nt）	長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 埼玉・準絶滅危惧（NT2） 新潟・準絶滅危惧（NT） 福島・準絶滅危惧（NT） 栃木・準絶滅危惧（Cランク）
鳥類	ハギマシコ		準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU）
鳥類	ハチクマ	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（Nt）	埼玉・絶滅危惧ⅠB類（EN） 長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 栃木・絶滅危惧Ⅱ類（Bランク） 福島・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT）
鳥類	ハヤブサ 写真	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅危惧2類（Vu）	長野・絶滅危惧ⅠB類（EN） 栃木・絶滅危惧Ⅱ類（Bランク） 福島・絶滅危惧種Ⅱ類（VU） 埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 新潟・準絶滅危惧（NT）
鳥類	ヒガラ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	ビンズイ		準絶滅危惧（Nt）	
鳥類	ベニマシコ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	ホオジロ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	ホトトギス			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	マミジロ		準絶滅危惧（Nt）	福島・絶滅危惧種Ⅱ類（VU） 栃木・準絶滅危惧（Cランク） 長野・準絶滅危惧（NT）
鳥類	ミヤマホオジロ			埼玉・ 準絶滅危惧（NT1）
鳥類	ヤブサメ			埼玉・準絶滅危惧（NT2）
鳥類	ヤマガラ			埼玉・地帯別危惧（RT）
鳥類	ヤマセミ		絶滅危惧2類（Vu）	長野・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 埼玉・準絶滅危惧（NT2） 栃木・準絶滅危惧（Cランク） 福島・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT）
鳥類	ヤマドリ			埼玉・絶滅危惧Ⅱ類（VU） 栃木・準絶滅危惧（Cランク）
鳥類	ルリビタキ			埼玉・地帯別危惧（RT）
哺乳類	ツキノワグマ 写真		情報不足（Dd）	埼玉・準絶滅危惧（NT2）
哺乳類	ムササビ			埼玉・準絶滅危惧（NT1）
哺乳類	モモンガ		準絶滅危惧（Nt）	埼玉・準絶滅危惧（NT1） 長野・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT） 福島・情報不足（DD） 栃木・要注目
哺乳類	ヤマネ		情報不足（Dd）	埼玉・準絶滅危惧（NT1） 長野・準絶滅危惧（NT） 新潟・準絶滅危惧（NT） 福島・情報不足（DD） 栃木・要注目

クマ、サル、シカ…… ダムができたら人里へ？

中止となったダム計画の傷痕



※原石山への作業道は正確なものではありません

赤～ 前のダムの工事によるもの。(つけかえ道路も)

・ダム工事のために作られた作業道路沿いにはそれまであった植生とは異なる植物が入り込んでいる

確認した要注意外来種

写真

- オオブタクサ … 侵略的外来種ワースト100　外来生物法で要注意外来生物に指定
- オオハンゴンソウ … 環境省指定の特定外来生物
- イタチハギ … 侵略的外来種ワースト100　外来生物法の要注意外来生物
- セイタカアワダチソウ … 侵略的外来種ワースト100　外来生物法の要注意外来生物
- ハルザキヤマガラシ … 侵略的外来種ワースト100　外来生物法の要注意外来生物
- ニセアカシア … 侵略的外来種ワースト100　外来生物法の要注意外来生物

・土捨て場には現在も外部から土砂が持ち込まれている → 外来種入り放題
→ クマタカの繁殖にも影響

・作業道跡は現在自然に帰りつつあるが、斜面に作られた道路は崖崩れを起こしている所もある

・つけかえ道路の植栽 ⟶ そこになかったものを植えている

※ ダムを作るのは、目先のこと。⟶ 地球環境のキズを広げている
長い目で見れば、自然を保護することが、温暖化、気候変動 etc を止めることになる